

信濃川水系河川整備計画

第1回住民懇談会(長野県内) 実施状況

○住民懇談会での意見の集約方法

住民懇談会では、千曲川河川事務所より「河川整備基本方針」及び「河川整備計画」の制度概要、「千曲川・犀川の現状と課題」について説明した後、河川整備に関する意見を伺いました。

意見の趣旨・具体的な箇所等については、会場に対話形式にてお聞かせ頂きましたが、皆様のご意見を具体的に文書化する事が困難なため、項目のみを箇条書きさせて頂きました。

○各会場の実施状況

長野会場

1. 日 時 平成20年10月26日(日) 10:00~11:30
2. 場 所 長野県教育会館
3. 参加者 32名
4. 意見質問等

【治水】

- 立ヶ花狭窄部の開削に関する要望。
- 千曲川が HWL に達したら、ポンプが停止させられ内水被害が生じる。立ヶ花狭窄部の開削により千曲川の水位を低下させてほしい。
- 狭窄部の改修方法として、トンネル河道とすることも考えられる。
- 西大滝ダムが川の流れを阻害。西大滝ダム付近の開削が必要。
- 堤防強化に関する要望。無堤区間、暫定堤防区間の完成堤防改修に関する要望。
- 遊水池整備に関する要望。
- 発電ダムの洪水時の有効活用に関する要望。
- 土砂堆積対策の要望。
- 重要水防箇所を計画的に整備してほしい。
- 内水対策に関する要望（排水機場の新設、ポンプの増強など）。
- 市町村と連携した危機管理体制の確立・強化を要望。流域住民へ危機管理に対する啓発を行うことが重要。
- 流域全体を考えた治水対策(森林整備)への取り組みが必要。

【利水】

- 犀川の減水区間（生坂ダム～小田切ダム）を解消するためのダム放流を要望。

【維持管理】

- 河道内樹木が流下阻害になっており問題。

【その他】

- 河川敷地内の私有地の権利問題について検討してほしい。
- 災害時の補償を行うべき。
- 住民懇談会の開催方法に関する意見。

松本会場

1. 日 時 平成20年10月26日(日) 14:00~15:30
2. 場 所 松本市水防センター
3. 参加者 12名
4. 意見質問等

【治水】

- 治水上マイナス面が大きいダムは撤去も検討するべき。
- 土砂堆積対策の要望。
- 堤防整備の方策として、輪中堤はよい方法である。
- 川が溢れることを前提とし、街づくりといった広い視点で臨むことも必要。
- 河道内樹木の流出を前提とした治水対策(橋梁嵩上など)が必要。

【環境】

- 河道に樹木があることで利点もある。伐採のやり方についてはルールづくりが必要。
- ケショウヤナギの保全のためには、河道内のかく乱が必要であり、ダムのフラッシュ放流など洪水並みに水を流すというような発想も重要。

【維持管理】

- 河床低下により、樹木に水がつかないため樹林化が進行している。河床低下は、ダムにより土砂供給が減少していることも原因。土砂供給をシステムチックに考えていかなければならない。
- 万水川で工事を実施しているが、三川合流点に土砂が堆積しているため、流下能力が不足しているのではないか。支川管理者と連携した維持管理が重要。

【その他】

- 住民懇談会の開催方法に関する意見。
- 河川整備基本方針に関する質問・意見。
- 支川に関する質問・意見(奈良井川など)。
- 危険水位の設定に関する意見。

上田会場

1. 日 時 平成20年10月27日(月) 18:30~20:00
2. 場 所 上田市中央公民館
3. 参加者 15名
4. 意見質問等

【治水】

- 堤防強化に関する要望。無堤区間、暫定堤防区間の完成堤防改修に関する要望。

【利水】

- 河川水を消化用水として利用するための環境整備を要望。

【環境】

- 外来種を排除するためには住民参加による取り組みが必要。

【維持管理】

- ハリエンジュは有効な資源なので公募伐採を継続してほしい。
- 住民が自由に河道内樹木を伐採できるようにしてほしい。
- 支川合流点に土砂が堆積しているため対策が必要。

【その他】

- 堤防天端を一般道路として使用したい。
- 国から自治体へ危険箇所に関する指導を要望。日頃から関係機関と地域とのコミュニケーションが重要。
- 住民意見の窓口を広くしてほしい。
- 支川管理者との連携が必要。
- 住民懇談会の説明資料に関する意見（専門用語が難しい）。

飯山会場

1. 日 時 平成20年10月28日(火) 18:30～20:00
2. 場 所 飯山市役所 委員会室
3. 参加者 24名
4. 意見質問等

【治水】

- 西大滝ダムが川の流れを阻害。西大滝ダム付近の開削が必要。
- 戸狩狭窄部の開削に関する要望。
- 災害を未然に防止するために計画的な護岸整備を進めてほしい。

【利水】

- 水利権更新の期間短縮を要望。

【環境】

- 宮中ダムと同様、西大滝ダムがサケの遡上を阻害している。
- サケの放流など住民活動を国土交通省からバックアップしてもらいたい。
- 北信地区の観光資源として千曲川は重要である。
- 船下りができるような河川整備を要望。

【維持管理】

- 河道内樹木が流下阻害になっており問題。

【その他】

- 千曲川下流長野県管理区間の直轄管理への編入に関する要望。